

玉川大学と MCPC が ICT 人材育成で連携を推進

— 学生が実学のモバイルシステム技術を習得し、就職活動などを有利に展開 —

2014 年 8 月 18 日 報道資料(F)

玉川大学工学部ソフトウェアサイエンス学科

MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム)

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC: 会長 安田靖彦) は、ICT 中核技術であるモバイルシステム技術の普及を目的とし、玉川大学工学部 (担当指導員 山崎浩一 教授) との連携を推進する。近年、急激に変化が進むモバイルシステム分野 (M2M、IoT 含め) では、多数の技術者が求められており、本取り組みは、このニーズに応えるべく、モバイルシステムの実践的技術を習得した人材 (学生) の育成を目指すものである。

玉川大学では、卒業後の学生が就職先で即戦力として活躍し、その仕事ぶりが評価されており、大学の魅力度も一層向上し、また入学志願者への大きな動機付けにもなりつつある。大学ではこのような実践的な教育を積極的に推進していく計画である。

玉川大学と MCPC は、今後更なる連携を進め、MCPC からの講師派遣のみならず、プログラミングコンテストの共同実施、MCPC 会員企業へのインターンシップなどでの協力を推進していく計画である。

1. 連携の経緯

玉川大学工学部ソフトウェアサイエンス学科は、高度情報化社会を支えるモバイルシステムのすべてを学ぶカリキュラムを、情報処理と通信技術を融合した領域で、基礎から先端技術まで広範囲に提供しているのが特徴となっている。

同学科では、2008 年より、MCPC と協力してモバイルシステム技術講座を開設している。本講座では、最新のモバイル通信技術を始め、M2M、IoT、セキュリティやモバイルの利活用事例など、学術的研究テーマから現場 (市場) での実務知識に至るまで、モバイルシステムに関する技術を総合的に学ぶことを狙いとしている。

また、同学科では、モバイル分野の基本技術を重要知識として位置付け、一定レベル以上の技術知識を習得するよう学生を指導している。

具体的には、技術講座履修後、MCPC が運営しているモバイルシステム技術検定制度の「モバイル技術基礎検定」を受験し、これに合格することを 3 年生から 4 年生への進級条件とする制度を設け、これを実施している。この条件を満たすため、学生には、3 年生後期の 1 月までに合格することが義務付けられている(注1)。

さらに 2010 年度には、基礎レベル（モバイル技術基礎検定）に加えて上位のレベル（モバイルシステム技術検定 2 級）を対象とする講座を設置した。学生には「モバイルシステム技術検定 2 級」の受験に挑戦することも推奨することとし、学生の上位レベルへのステップアップに対応する取り組みをスタートさせた。特にモバイル関連分野への就職を希望する学生には、「検定 2 級資格の取得」が就職活動の大きなアドバンテージになるとして、本検定への挑戦を動機づけ、本格化させている。

これには、MCPC 検定の実績が評価され、大手通信事業者をはじめ通信機器メーカー、IT システム販売会社およびシステムインテグレータ（SIer）など多くの企業が「取得推奨資格」として位置付けている背景がある。特に新人から入社 5 年目の若手社員に対し、この資格の取得を義務付けている企業もあり、学生が既にこの 2 級レベルの技術知識を身につけていれば、就職活動にも大きなアドバンテージが期待できる根拠にもなっている。

玉川大学では、既に累計で、基礎検定合格者 195 名、2 級検定合格者 26 名と着実に成果を上げており、受検している大学関係の合格者数では No1 の実績を誇っている。（数字は 2014 年 7 月現在）これに呼応して、モバイル関連の企業への就職も着実に増してきている。

<MCPC の協力について>

◆モバイルシステム技術講座への講師派遣

MCPC が玉川大学に派遣している講師は、MCPC 会員企業の通信事業者、通信機器メーカー、システムインテグレータ（SIer）等の高度技術者である。

講座の指導を担当しているのは、いずれも第一線で活躍している高度なモバイルシステム技術者で、最新のテクノロジーをはじめシステムソリューション、モバイルシステムの構築などで、豊富な経験とノウハウを有している。MCPC には、現在 10 名の講師が登録されている。

◆公式テキストの提供

MCPC のモバイルシステム技術検定制度に対応した教材として、上記講師陣が中心となって監修・執筆した公式テキスト（市販本）がある。

このテキストは、モバイル基礎編、モバイルシステム技術編、モバイルシステム技術・エキスパート編の 3 レベルに分けて出版されている。技術者のレベルに応じて使用できるもので、図解と判りやすい文章による解説などが好評を得ている。玉川大学では、「基礎編」または「システム技術編」のテキストを、学生の教材として利用している。

2. モバイルシステム技術検定の制度と企業評価

MCPC のモバイルシステム技術検定制度(*)は、2005年から運用が開始された制度で、IT、ICT 業界から高く評価され今日に至っている。本検定制度の各資格は、大手の移動体通信事業者やコンピュータメーカー、ソフトウェアベンダーをはじめ、多数の大手・中堅企業で取得推奨資格として認定されている。既に52,000人以上の受検実績があり(2014年7月現在)、「ICT業界の標準資格」の一つとして位置付けられている。

こうしたわが国のICT人材育成への多大な貢献が認められ、2007年、情報化促進部門で総務大臣表彰が授与されている。

またMCPCでは、2010年3月、IEEE(米国電気電子学会)と両者の検定試験制度、内容などを評価し相互に推奨することで協調をするなど、グローバルな資格制度の推進へと進展させている。

(*) モバイルシステム技術体系図(別紙)を参照のこと。

3. 今後の連携強化について

MCPCは、モバイルシステム技術者の人材育成に、今後とも継続的に取り組んでいく方針である。

具体的には、大学や専門学校を中心に、指導講師の派遣、教材の提供、モバイル関連企業と連携したコンテストやMCPC会員企業のインターンシップの受け入れ協力など、学生が魅力を感じる教育内容の充実を図っていく計画である。このためMCPCでは、本年4月より内部に講師育成制度の設立プロジェクトを立ち上げ、教育機関への対応体制を強化した。

注1. 同学科では、モバイルシステムをはじめとする4つの専門領域の技術者の育成に取り組んでおり、指定した各分野の資格から一つ以上取得することを進級条件に定めている。これまでの実績より、約半数の学生がMCPC実施のモバイルシステム技術の検定に合格している。なお、5年間の取組みにより検定試験の受験は軌道に乗ったため、2013年度入学生より進級条件から外された。MCPCによるモバイルシステム技術講座は引き続き実施する。

問い合わせ先

玉川大学工学部ソフトウェアサイエンス学科

学科主任 教授 山崎 浩一

(yamazaki@eng.tamagawa.ac.jp)

<http://www.tamagawa.jp/>

MCPC 幹事長 畑口 昌洋

(hatagutichi@mcpc-jp.org)

<http://www.mcpc-jp.org/>

◆モバイルシステム技術検定体系

資格のグレードと必要な知識レベル



モバイルシステム構築の
コンサルタントスキルを認定

モバイルシステム構築の
高度技術者として認定

モバイルシステム構築の
広範囲な技術者として認定

モバイル基礎知識を
認定

ケータイ販売スタッフの
モバイル実務知識を認定

モバイル技術の 明日を担う、 次世代たちへ。

未来のモバイル技術者を育成するという責務。

MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム)では、
モバイルシステム技術の最先端分野のスキルを提供し、
これからのモバイルソリューションで飛躍する
人材の育成を推進しています。

mobile
solution

MCPCは、未来のICT企業を支える学生たちを応援しています。

モバイルシステム技術者育成 提携教育機関紹介

玉川大学 工学部
ソフトウェアサイエンス学科
Department of Software Science

最先端分野の基本、専門知識を学び
即戦力として活躍できるスペシャリストに!

[ソフトウェアサイエンス学科]

»» 4つの専門領域



モバイルシステムの全てを統合的に学ぶ。
高度情報化社会を支えるモバイルシステムの全て
を学ぶカリキュラムがあるのが特徴です。情報
処理と通信技術を融合した領域で、基礎から
先端技術まで学べます。MCPCサポートのモバ
イルシステム技術キャリア講座も開設しています。

資格取得をめざすことで学修姿勢が定着、
就職活動に向けても大きな効果!

学修成果を客観的に知るうえで専門分野の実績
のある資格取得を推奨しています。学年ごとに
設定された目標レベルの資格取得に向けて計画的
に学習に取り組む姿勢が定着します。その過程
で受講する講義を通してモバイルシステム業界
の理解を深めることができ、就職活動の大きな
支援になっています。

»» 玉川大学工学部の学生はモバイルシステム検定2級資格を目指しています。



Voice_01

検定合格者の声 「就職に役立つ資格で自信ができました」

検定合格を一つの目標にすることで、大学で開講されているモバイルシステムに関する講義
への集中力も一層高まり、積極的な学習によって多くの知識を身につけることができました。
勉強の成果が資格という形になることで、自信にも繋がっています。(4年/赤川 大海)

Voice_02

検定合格者の声 「モバイルシステムについて理解度が深まる!」

モバイルシステムについてハードウェアやソフトウェア、サービスからの観点で学ぶことが
できました。資格取得を通して今後のモバイル業界の技術動向を知ることができ、将来、
モバイル分野での仕事をするうえで強い武器となります。(4年/塩田 圭貴)

未来を支えるモバイルシステム技術ニーズにこたえます。

MCPCが主催するスキルスタンダード

モバイルシステム技術検定

基礎検定

1級検定

2級検定

IT&ICT
エンジニアリング
標準資格!

総務大臣
表彰受賞!

IEEE
(米国電気電子学会)
推奨!

既に
50,000人
以上が受検!

モバイルソリューションを推進する

MCPC

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリーンビル2階

<http://www.mcpc-jp.org/>

検定、講習会のお問合せは



MCPC検定事務局

e-mail:msec@mcpc-jp.org

TEL.03-5401-1735

FAX.03-5401-1937